

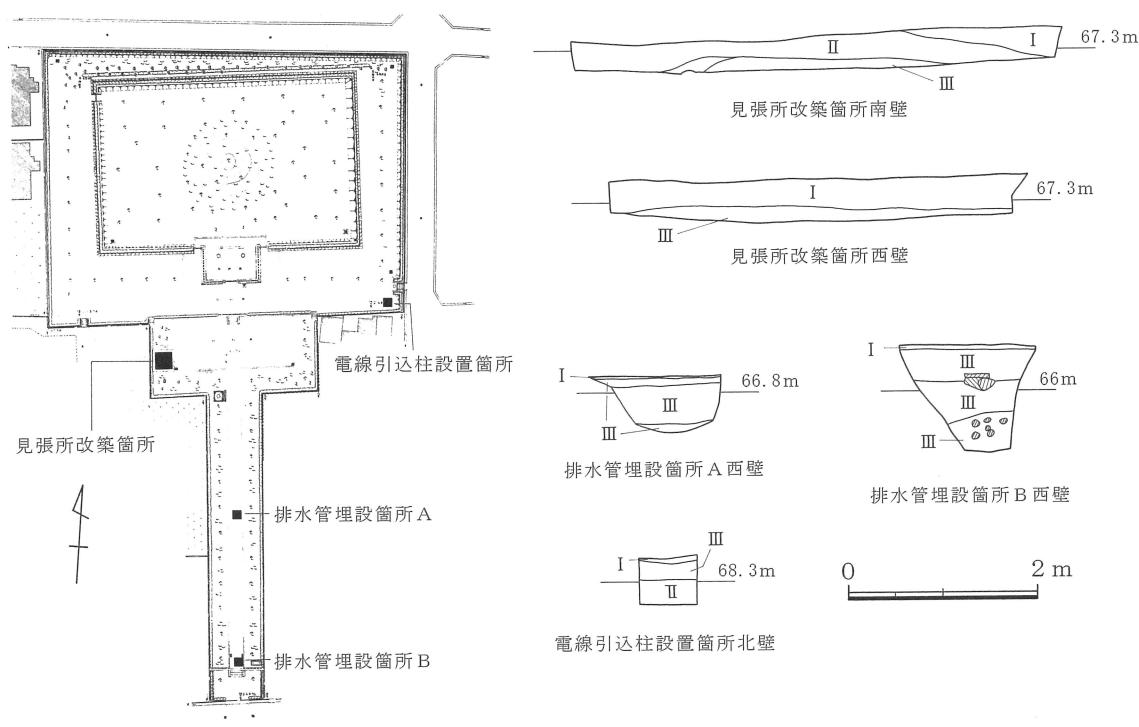
二條天皇 香隆寺陵見張所改築工事に伴う立会調査

本陵は、京都市北区平野八丁柳町にあり、南に向かってごく緩やかに下る斜面地上に位置する。
 拝所脇にある見張所の老朽化に伴い改築工事が行われることになったため、平成16年12月6～9日の間、本部職員と監区職員が、それ以外の工事期間中は監区職員がそれぞれ立ち会った。

掘削箇所は、見張所改築箇所(長さ3.4m×幅2.9m×深さ0.4m)のほか、排水管理設箇所(長さ70m×幅0.6m×深さ最大1.2m)および電気配線埋設箇所(長さ47m×幅0.4m×深さ0.5m)である。配管・配線箇所は掘削距離が長いので、土層観察の後、要所について断面図の作成を行った(第35図)。

各掘削箇所ともほぼ同様の土層が認められた。Ⅰ層は拝所や参道の砂利敷である。Ⅱ層は見張所改築箇所でのみ認められた、砂礫中心の砂質土である。Ⅲ層は粘質土で、電気配線埋設箇所・排水管理設箇所でも広く認められた。これらの土層の性格であるが、排水管理設箇所となった参道が周辺地よりかさ上げされて、明らかに高くなっていることから、Ⅱ・Ⅲ層とも参道・拝所を整備した際の盛土である可能性が高い。

遺構・遺物は認められず、上記の結果を踏まえ、工事は予定どおり実施した。(清喜裕二)



第35図 香隆寺陵 調査箇所位置図(1/1500)および断面図(1/80)